

広報誌

つくし

発行日 2024年8月1日発行

第50号

目次

山崎先生からのご挨拶	2
第11回 開院記念院内発表会	2
地域オープンセミナーのご案内	3
精神障害者アウトリーチ推進事業について	4
春の交流会	4
第25回 ほっとはあとポッチャ大会	5
第76回 高知市展	5
外来患者満足度調査 外来待ち時間調査の結果報告	6
職員旅行	7
つくしカーニバル!	7
南国病院オリジナルTシャツ完成!	8
新たなスタート	8
ニューフェイスの紹介	10
診療のご案内	12



令和6年度を迎えて

医療法人つくし会 理事長
南国病院 院長 中澤 宏之

令和6年度がスタートしはや4ヶ月が過ぎましたが、新年度を迎えたつくし会の近況をご報告します。4月には第8次医療計画、医師の働き方改革がスタートし、令和6年6月には診療報酬、介護報酬、障害福祉サービスのトリプル改定が行われ節目の年となりました。今回の目玉となったベースアップ評価料など、職員の皆さんの賃金向上に資する診療報酬は大いに評価できますが、生活習慣病管理料(Ⅱ)の新設や各種指導管理料の要件の厳格化は医療機関の負担となり、物価やエネルギー価格の上昇を考慮すれば実質的なマイナス改定です。また、医療従事者の確保も難しくなっている現在の医療情勢においては、それぞれの医療機関の経営努力が益々試されています。

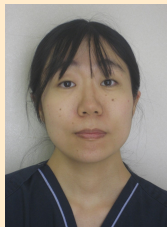
そんな中で、令和6年4月17日の開院記念日までの1年間で新たに22名の職員を迎えることができました。新たに入職された皆さんがつくし会の仲間となって下さったことを心より歓迎します。特に、脳神経内科は4月から常勤医師として山崎加子先生をお迎えできたこと、また精神科非常勤医師として河合先生と下條先生をお迎えできたことは脳神経内科、精神科の診療機能強化に向けて大きな意義がありました。当法人の理念や期待人材像として重視している、患者ファースト、謙虚な心構え、自己研鑽、専門性の追求、多職種協働が実現され、医療を通じて皆さんと一緒に地域貢献ができることを楽しみにしています。

今年度はコロナ禍で中断していた職員旅行を5年ぶりに再開します。大勢での密集を避けるため、期間を分散して6班に分けた日帰り旅行を企画しました。早速第1班が6月に淡路島・クラフトサーカスへの旅行へ行ってきましたが、お子さんと一緒に参加した職員もあり、親睦を深めることができたようで、職員旅行の再開を嬉しく思っています。

前回の広報誌でご紹介した精神障害者アウトリーチ推進事業を含め、いくつか新たな取り組みを行なっていますので、どうぞご覧になって下さい。今後ともつくし会との連携、ご指導をよろしくお願いいたします。

ご挨拶

南国病院 脳神経内科 山崎 加子



初めまして、4月から南国病院に赴任致しました山崎 加子と申します。

昨年までは高知大学医学部附属病院脳神経内科に所属し、脳炎・髄膜炎やギラン・バレー症候群などといった急性期疾患の診

察・治療に携わっていました。医師になってから3年間ずっと大学病院で勤務していたこともあり、初めて市中病院で勤務することに対する不安もありましたが楽しみでもありました。実際に南国病院では、パーキンソン病や筋強直性ジストロフィーといった慢性期神経変性疾患を診療する機会が増え、患者層や求

められる医療が大きく異なると実感しております。このような考え方・治療方針もあるのかと驚きつつ日々新鮮な気持ちで診療に臨んでいます。また、診療の中で初めて出会う疾患や未だ病態の確立されていない疾患にあたることもあります。その都度先生方にフィードバックをいただきながら勉強させて頂いております。他医師との距離も近く非常に心強いと感じる毎日です。

脳神経内科医としてはまだまだ未熟ではありますが、患者さんおよびスタッフの力になれるよう日々励んで参ります。今後ご指導ご鞭撻の程何卒よろしくお願い申し上げます。

第11回 開院記念院内発表会

2024.4.17(水)

南国病院 在宅医療支援センター・センターホール



精神科病棟に従事する
看護職の抱えるストレスの実態
～職員への意識調査で分かったこと～

5病棟看護師 上地 彩映

栄養士のランニング奮闘記

栄養課 管理栄養士 寺岡果南

学術研修委員会委員長

副院長・精神科部長 玉元 徹

今回も演題数6題と少々少なめでしたが、それぞれ興味深い発表で充実した時間を皆さん過ごされたと思います。

最初の5病棟の上地さんの演題は、看護職員の業務上のストレスについてでしたが、看護師が減っている現状を考慮しますと非常に重要なことでした。これからも職場の環境を改善していくためにはそういう発表が多く必要かもしれません。



続いて2番目の演題は、栄養士寺岡さんの自身のアスリート向けの食事管理だったと記憶していますが、体調管理に欠かせない栄養管理ですから多くのみなさんのためになったのではないかと思います。そういう生活に根ざしたことがらの発表<趣味など>が増えると、より院内発表会が充実するようになります。



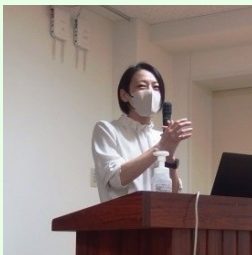
そして3番目の演題は作業療法士の大野さんですが、パーキンソン病の治療の一環として非常に重要なことだったと思います。私は精神科医だからかもしれませんが、統合失調症の方のパーキンソン症候群の中で体の傾きに関しては軽視する傾向にありましたので、反省させられました。

それから4番目の演題はソーシャルワーカーの井上さんですが、精神科デイケアの認知行動療法の成果についての発表と記憶しております。私は精神科医でありながら認知行動療法は行ったことはなく、今後参考にさせていただこうと思いました。

最後のソーシャルワーカーの山本さんの演題ですが、さすが山本さんという発表で虐待についての情報が多くの映像を交えて提示されていてかなり衝撃的でもありましたが、今後重要になってくる問題であることがよく理解できました。

最後の私の発表は自分で感想を書くのは妙ですが、多くの方々に賞賛していただき感謝しております。睡眠に関する書籍を4, 5冊買って読みあさり、さらに睡眠関連のテレビの特集も見て1ヶ月以上は準備した甲斐がありました。その割には30分しか発表できなかったのは私の実力の限界です。みなさん、ご了承ください。

来年も充実した院内発表会であることを願っております。



食事姿勢の改善を目指した パーキンソン病患者の一症例

リハビリテーション課
作業療法士 大野亜由美

精神科デイケアにおける 認知行動療法の取り組みについて

精神科デイケア室 精神保健福祉士 井上貴世

R6.41精神保健福祉法改正から 虐待防止関係について



地域連携・医療相談室
精神保健福祉士
山本真里

良い睡眠について

副院長
精神科部長
玉元 徹

地域オープンセミナーのご案内



(仮題)

2024年11月30日(土)14:00～

南国病院 在宅医療支援センター4階 ホール

入場
無料

演題1 能登半島地震における医療救護活動を経験して思うこと

演題2 能登半島地震こころのケア活動で感じた地域の力

～自助・共助の重要性～

精神障害者アウトリーチ推進事業について

外来看護師長兼地域連携・医療相談室長 國本 美香

精神障害者アウトリーチ推進事業とは、中央東圏域(南国市、香南市、香美市、本山町、大豊町、土佐町、大川村)を事業の対象エリアとし、精神科医療を中断した方や、精神疾患が疑われるが精神科の受診歴がない方などに対して多職種チーム(精神科医、看護師、精神保健福祉士、作業療法士など)が必要に応じて訪問支援を行います。

保健・医療・福祉サービスを包括的に提供することで、入院治療を前提とせず、住み慣れた地域での継続した生活が送れるように支援する取り組みです。

当院のアウトリーチチーム(つくし)のメンバーは

- ①精神保健指定医 石田青鳥医師
- ②精神保健福祉士 山本真里
- ③作業療法士 今城恵理
- ④看護師 國本美香 の4名です。



対 象 者

- ① 精神科医療を中断されている方
- ② 精神疾患が疑われるが、受診歴のない方
- ③ 長期入院の後、退院された方や、入退院を繰り返される方
- ④ ひきこもり状態にあり、精神疾患がある方
(精神疾患が疑われる方を含む)

事業対象エリア

南国市・香南市・香美市
本山町・大豊町・土佐町・大川村

相談の流れ

家族や
関係機関等
からの相談

市町村

申請

南国病院
アウトリーチ
チーム

対象者1名につき、6ヶ月を支援の基盤と定めています

春の交流会

2024.5.16(木)

南国市スポーツセンター

主催：高知県精神科デイケア連絡会

精神科デイケア室 精神保健福祉士 中島 孝志

高知県下のデイケア施設から10施設が集まり、南国市スポーツセンターの体育館にて春の交流会が開催されました。以前には毎年定期的に行われていた交流会でしたが、コロナ禍の影響によって、今回は5年振りの開催となりました。

交流会では、ボッチャや卓球などの身体を動かす種目だけでなく、将棋・オセロ・麻雀といったテーブルゲームも行われ、当院デイケアからも見学者を含めて20名のメンバーが参加されました。午前・午後の部に別れた各種目では、参加メンバー

の楽しまれている様子だけでなく、自施設および他施設参加者との積極的な関わりなど、普段のデイケアでの姿とはまた違った一面を拝見することができました。また終了後の参加者へのアンケート結果でも開催に対し、「久しぶりに他の病院の人との交流会は良かった」「久しぶりに皆で身体を動かすことができ良かった」「皆で楽しく出来て雰囲気良かった」「年1回はやってもらいたい」「様々な競技があったので良かった」など肯定的な意見が目立っていました。

第25回 ほっとはあとポッチャ大会

2024.3.7(木)

高知県立障害者スポーツセンター春野

主催:精神保健ボランティア ほっとはあと

精神科デイケア室 看護師 永森 千恵

第25回ほっとはあとポッチャ大会が3月7日スポーツセンター春野でありました。
コロナ禍で久しぶりの大会であり、当院から9名選手として最多人数で参加し、3チームが試合に取り組みました。トーナメント戦にて緊張感もあり1回戦目で無念の敗退したチームもありましたが、他施設の強豪チームを破り2回戦では当院同士のチームが戦う状況もありました。審判員が足りない中、敗退したチームの選手がスコアをめくって手伝ってくれたり、応援してくれたり最後まで一丸となって戦いました。惜しくも順々決勝で敗れてしまい3位となりましたが、久しぶりに他施設との交流で懐かしい再会もあり、共に汗を流され楽しめました。

メンバーM・Tさんより



久しぶりの大会で、始めは忘れていた不安もあったが他のチームを見させてもらって出来たと思う。最初に当たったチームはもう負けと思ったけど、半ばから盛り上がり勝てた。2回目は同じデイケアチームになったので負けと思ったが勝てた。3回目は海辺のチームに負けたが3位になれたので良かった。最初は負けと思っていたので嬉しかった。次回も参加できれば楽しみたい。

第76回 高知市展

2024.5.25(土)～2024.6.9(日)

高知市文化プラザ かるぽーと

主催:高知市展代表委員会・公益財団法人高知市文化振興事業団・高知市

精神科デイケア室 作業療法士 北川 結大

デイケアでは、5月25日～6月9日の期間「高知市文化プラザかるぽーと」にて行なわれた「第76回高知市展」に共同作品として2作品出展しました。今回は絵画の部門での出展となり、それぞれメンバーさんが書いてくださった「人の顔」を貼り合わせた「作品名:多数の顔」、画用紙に絵の具を自由自在に塗った「作品名:模様の交差点」として出展しました。デイケアのプログラムでは月2回程、「アート」の時間があり、講師の方をお招きし、季節に応じた作品をメンバーさんが作っています。今回は、高知市展に向けて4月から作品の制作に取りかかり、作品名までをメンバーさんに決めてもらいました。絵画を通じて「自己表現の機会」や、「集中力・意欲の向上」、また市展に出展することでの「社会参加の拡大」といった目的があります。完成した作品は、会場搬入→作品見学→会場搬出までを行いました。作品見学では、デイケアメンバーでかるぽーとに行

き、様々な素晴らしい作品に皆さん圧感されていました。高知市展だけではなく様々なイベントにデイケアとしてこれからも作品を出展していきたいと思えます。

メンバーK・Mさんより



過日、高知市展に出かけました。デイケアの共同作品も出展され出来映えに満足したことです。県外からの作品も多く個性的な作風に感動しました。限られた時間でもありましたが、しばしアートの世界に身を置くことができました。

外来患者満足度調査・外来待ち時間調査の結果報告

業務改善委員会委員長 看護部長 小松 匡輔

令和6年4月15日～4月30日にかけて、100名の外来患者様を対象に満足度調査と外来待ち時間調査を実施しました。回収率は99%であり、ご協力いただいた患者様とご家族の皆様にお礼を申し上げます。

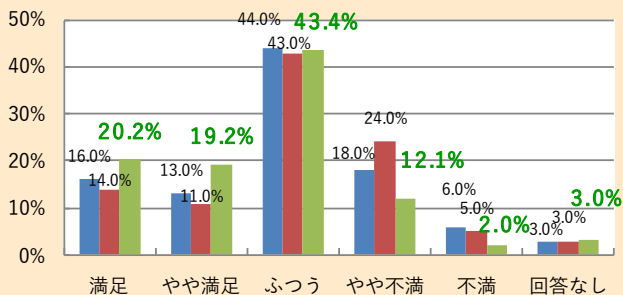
外来患者満足度調査では、施設・設備面の清掃に関して満足・非常に満足が95.9%と非常に高い評価をいただいております。これは、保清さんの掃除が丁寧であることの結果の現れだと思っています。いつも本当にありがとうございます。この項目は、前回調査時も高く評価していただいているので、継続して取り組んでいけるよう努力いたします。

また、「院内の掲示は受診時に必要な情報が提供されていますか？」という項目では前回満足の評価が76.8%でしたが今回は83.7%でした。患者さんが必要としている情報の掲示が出来ている結果だと思います。反対に評価が下がっている項目は「受付・会計での待ち時間」の満足度が79%から68.7%と減っています。今後も待ち時間の短縮については、患者様に満足いただける対策を考えていかなければならないと感じております。

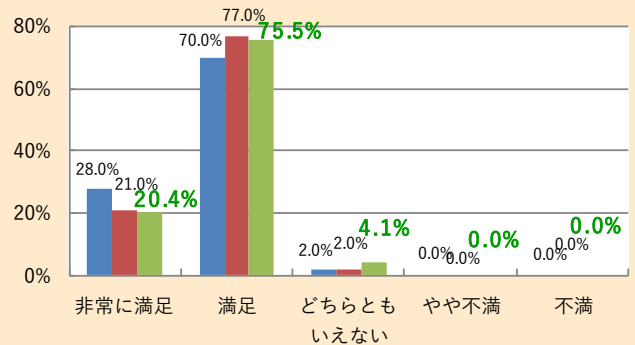
外来待ち時間調査においては全体的に待ち時間は減っています。全体的に改善傾向が見られますが、まだまだ短縮に努めなければならない問題であると認識しております。

皆様からの貴重な意見をもとに、より一層改善に努め、満足していただけるよう努力していきたく思いますので、お気づきの点がございましたら気軽にお声かけ頂きますようお願いいたします。

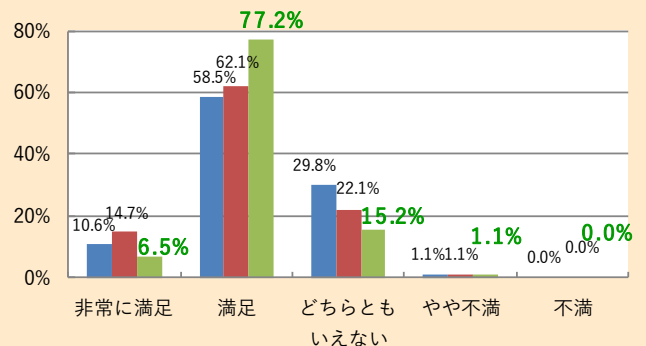
総合的にみて待ち時間についてどう思われましたか。



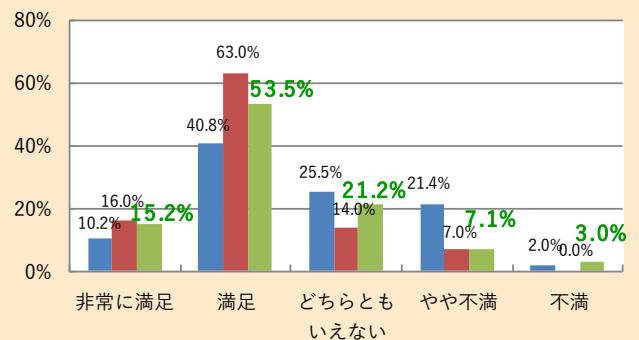
院内の清掃は行きとどいていましたか？



院内の掲示は受診時に必要な情報が提供されていると思えますか？



受付・会計での待ち時間はいかがでしたか？



職員旅行 日帰りコース 淡路島・クラフトサーカス 2024.6.23(日)

2病棟看護主任 百田 波恵

梅雨真っ只中の6月23日、待ちにまった5年振りの職員日帰り旅行に参加させていただきました。残念ながら体調不良で2名の職員が欠席となってしまいましたが、22名でいざ淡路島へ。

梅雨時期だったので雨は覚悟の上でしたが、私達の日頃の行ないが良かったのでしょうか、なんとか傘の出番も少なくすみました。

まず淡路島の「クラフトサーカス」というおしゃれな建物内でみんなそろってBBQをしました。エビが美味しかったです。

その後は「たこせんべいの里」で試食をたくさんした後、お土産もたくさん買いました。



最後に徳島の「道の駅くるくるなると」で、またお土産をたくさん買いました。

今回上司2名が欠席となってしまったため、急遽責任者という重大な役割を担うことになりましたが、運転手さんや皆さんのおかげで、誰も置き去りになることなく、楽しい旅を終えることができました。

楽しい時間は、あっという間でした。

短い時間でしたが、他部署の人たちとも交流がもて、リフレッシュもできてとても楽しかったです。

来年は泊まりで行きたいです。ありがとうございました。

つくしカーニバル！

外来看護師長兼地域連携・医療相談室長 國本 美香



私がこのカーニバルを企画した理由は

- ①私自身が体力の衰えを感じ、ジムに通っている。
- ②そのジムで行っているZUMBAが楽しいので皆でやりたい。
- ③職員さん皆さんのストレス発散の場にしたい。
- ④ジムに行った事はないけれど、行ってみたい、体験してみたい、と思っている職員さんが無料で参加できたら喜んでくれるのではないかと？

といった勝手な思いから、企画してみようと思うようになりました。たまたま通っているジムのインストラクターがフリーになると

聞き、企画の話をするとう賛同してもらい、めでたく1回目の開催につながりました。

1回目開催が大盛況(半強制的とも取れますが)で、50名オーバーの参加者が集まり、センターホールが狭く感じる程でした。ドクターが差し入れも持って来てくれたりして、和やかな雰囲気でき始まり、あっという間の45分間でした。アンケート結果も、「良かった」「楽しかった」「毎月やってもらいたい」などの意見が多く、第2回目が今年の3月20日に開催。部屋を暗くしてミラーボールを回してみました。啓輔先生が、顔はバカ殿、格好はマツケンに扮して飛び入り参加し、更に盛り上げて頂きました。第3回目が、7月12日に開催。病院の福利厚生イベントとして定着し、ご要望があればヨガやストレッチ系のエクササイズも取り入れていきたいと思っていますので、國本までお知らせ下さい。

スポーツジムさながらの臨場感あふれる無料のエクササイズです、南国病院の職員さんなら一度はご参加下さい！！

南国病院オリジナルTシャツ完成！

外来看護師長兼地域連携・医療相談室長 國本 美香

高知県の誇るフィギュアイラストレーター

「デハラユキノさん」と南国病院のコラボTシャツです。

病院用に30枚準備しましたので、8月3日のまほろば祭りでお披露目です。

Tシャツの反響が意外と大きく、職員個人用に購入する者もあり、外来業務とTシャツ販売業務でバタバタの日もありました。

先日、すさきまちかどギャラリーに「デハラユキノ 図画工作展」を見に行ってきた。豪商の元邸宅を改装した施設に作品を展示しており、いつもの個展とは違った雰囲気でもとても良かったです。個展初日だったのでご本人にもお目にかかれ、お礼も伝えてきました。「好きなように使ってください。」と仰っていたので、トートバックも勝手に作りました。



新たなスタート

【 薬剤課長の抱負 】

薬剤課長 北川 亜紀

2024年4月から薬剤課長を拝命いたしました北川と申します。南国病院に入職して10年、薬剤課長という役目に身が引き締まる思いです。

ここ数年、医薬品の安定供給が困難な状況が続いています。医薬品の確保、代替薬の提案、調剤薬局と在庫情報を共有するなどの業務が加わりました。薬剤師になった頃には考えもしなかった現状ですが、はやく落ち着く事を願っております。南国病院の理念に基づき、患者さん一人一人に安心かつ安全な薬物治療を行えるよう、日々努めてまいります。至らないこともあると思いますが、今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いたします。



【 精神科作業療法室長の抱負 】

精神科作業療法室長 今城 恵理

当院へ入職し15年、当時は考えられなかった室長という立場になってしまいました。正直、室長という役職が務まるかどうか疑問が残りますが…。

精神科作業療法室には、職員は1名しか居ません。ですが、関わってくれている作業療法士は1名ではありません。日々、“精神科作業療法はこれで良いのか？”と自問自答し、それでも関わってくれている作業療法士が居ることで、自分だけでは考えられないアイデアをもらったりして業務にあたっています。また、病棟にも協力していただけることで、沢山の患者さんが参加され、精神科作業療法が行えていると思っています。本当にありがとうございます。今後は、関わってくれている方の協力を仰ぎながら、個別支援やグループ活動も取り組み、より良い精神科作業療法を提供していけたらと思います。



【 通所リハビリテーション室長の抱負 】

通所リハビリテーション室長 土居 史明

南国病院にて4年間の業務を経て、通所リハビリテーションでは9年目を迎え、このたび、4月から通所リハビリテーション室長に拝命しました。理学療法士の土居と申します。



通所リハビリテーションは、在宅生活を継続するために、主に運動を行い、身体機能の維持向上を図る場所です。目標を達成するためには、利用者さんとの関わりはもちろん、ご家族様、ケアマネージャー、その他多職種と連携を取り合う必要があります。

そのために、日々、スタッフ間でコミュニケーションを取りながら、常に最善策を考えて対応してきました。そうした経験を積んでいく中で、生活をするということは、周りの人に支えられていること。人を支えていくためには、一人ではなく、協力し合う必要性を実感し、今後もこの学びを大切にしたいと思っています。

今年は、介護報酬改定もあり、激動の1年になることが予想されますが、スタッフと協力しあって、これからもたくさんの人を支えられるように努めて参ります。

【 看護部長の抱負 】

看護部長 小松 匡輔

これまで病棟師長兼看護部長代行の立場として勤務してきましたが、4月より看護部長を拝命しました。日々、看護部長として何が出来るのか試行錯誤の毎日です。



当院の専門性である精神科と神経難病の専門病院として地域に貢献し、ご家族が入院したいと思えるような病院にしていきたいと考えております。皆さんと一緒に築き上げていきたいと思っておりますので、どうか力を貸して頂きたいと思っております。そして、南国病院の理念を念頭に置き、少しでも地域医療に貢献できるよう皆様のサポートをいただきながら努力していきたい

と思います。

今後、高知県は全国に先行して少子高齢化社会となり人口は減少していきます。そのため看護職の人材不足の問題があります。人材確保については早急に取り組まないといけない問題です。当院でも特に看護補助者は募集をかけてもほとんど応募がない状態です。限られた人的資源をいかに活用するかが課題となってきます。そのため、特定技能外国人材の雇用も視野に入れ、スタッフが不足した時の応援体制の構築や、スタッフが安心して働き続けることができる環境作りに力を入れていく必要があります。医療は入院から在宅へシフトしつつあります。看護部長として時代の変化を取り入れ、皆様が働きやすい職場を第一に考え、ワークライフバランスも継続していきたいと思っています。まだまだ、未熟で至らないことも多くご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

【 看護師長の抱負 】

3病棟看護師長 岡本 めぐみ

4月より3病棟看護師長を拝命いたしました。当院では6年目を迎え、周りのスタッフに支えて頂きながら、日々、楽しく仕事が出来ています。



3病棟は特殊疾患病棟で、病状や治療、生活支援のために長期入院する患者さんが多く、今年度一番に掲げた目標は「患者さんや家族に思いやりをもって接する」です。そのために「聞く・気づく」を大切にしており、日頃から患者さんとご家族が思いを口にしやすい関わりを心がけています。また、患者様の声にならない声や変化に一早く気づけるよう、様々な職種と情報交換しながら、それぞれが尊重し合う病棟にしたいと思っています。新たにサブリーダーとなった川村主任・池内主任とともに、スタッフの声に耳を傾け、和気あいあいとした働きがいのある病棟になるよう努めたいと思っております。力不足でご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



【 看護主任の抱負 】

2病棟看護主任 田井 計行

4月より2病棟の主任を拝命しました田井と申します。



2病棟へ異動し4年が経ちます。先輩方や皆様にご指導やお力添えをいただきながら、ひとつひとつ主任業務を学ばせていただいております。

神経難病の患者様は、予後不良の方もおり、長い期間つきあっていかななくてはならない疾患のため、患者様を含めスタッフ同士でも互いに協力と助けあいが必要となってきます。患者様中心のケアを行うと共に、病棟内での良好な関係を継続していけるようコミュニケーションを大事にし、みんなが働きやすい環境作りの一助となれるよう努力していきたいと思えます。まだ不慣れな点が多く、皆様にご迷惑をおかけするかもしれません。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

3病棟看護主任 川村 直喜

4月から3病棟の主任看護師となりました川村直喜です。



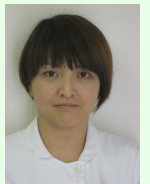
主任看護師の役割や求められる能力を知る度に、責任の重さを感じている毎日です。まだ何が出来るのか手

探りの日々ですが、スタッフの意見に耳を傾けコミュニケーションを取りながら、働きやすい職場環境の構築や人材育成に関わり、自らも成長していきたいと思えます。

そして、自分自身の看護観を大事にしつつ看護現場に一番近い管理職として、より広い視野を持ち業務に携わっていきたいと考えております。

3病棟看護主任 池内 和子

4月より3病棟主任を拝命いたしました、池内です。



これまで、他院での経験を経た後、3病棟でお世話になり、7年目を迎えています。神経難病の患者様と関わって行く中で、病状経過を追っていく看護の難しさや、また患者様のみならず、御家族との関係性の構築など、可能な限りのサポートを日々業務に追われながら、試行錯誤しています。その様な中、今回このような役割を担う事となり、果たして自分でいいのだろうか戸惑いもありましたが、師長・主任と協力しながら、スタッフ一人ひとりが働きやすい職場となるように努力していきたいと思えます。至らない事も多々あるかと思えますが、どうか、今後ともご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願致します。

ニューフェイスの紹介

【 臨床検査室 】

臨床検査技師 村岡 直美

4月に入職しました村岡と申します。

臨床検査技師の本分である質の高い検査結果を提供できるよう精度管理を注視し、パニック値の迅速な報告など、医師や関連部署との連携を重視し、最新のニーズを把握し情報を収集、共有して業務に活用する。

病院の理念であります、信頼関係に基づき暖かい医療を提供する、専門性を追求し自己研鑽に努める。この理念を念頭におき、これまでの経験を活かして病院のニーズに対応し、貢献できるよう努力することを目標に業務を遂行したいと考えております。至らぬ点があると思えますが宜しくお願致します。

【 看護部 】

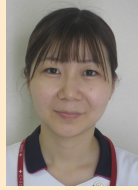
3病棟 看護師 山崎 史敦

6月より南国病院に入職し、特殊疾患病棟で勤務しています。私はこれまで、急性期病棟や精神科病棟で働いてまいりました。この経験を活かし、地域の看護師としてより専門性の高い分野で働きたいと考え、特殊疾患病棟を希望しました。難病は完治が困難な病気であり、患者様と御家族の不安に対して、看護師が担う役割と責任は大きいと感じています。患者様とその後家族が安心して療養できる環境を提供できるように、気を引き締めて自己研鑽に励み、看護に取り組んで参ります。ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願致します。

2病棟 看護師 濱田 葉南

6月から2病棟で勤務する事になりました濱田葉南です。地元である南国の病院で働けることを嬉しく思っています。2病棟は神経難病の患者様が多く、初めての分野にとまどう事もありますが、スタッフの皆様が温かく声をかけてくださり、働きやすい環境である事に感謝しています。

1日でも早く仕事を覚えて地域の皆様に貢献し、患者様一人ひとりに寄り添った看護を行えるよう努めてまいりたいと思います。至らないこともあるとは思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお祈いします。



5病棟 看護師 有光 沙織

4月11日に入职しました有光沙織と言います。

看護師として最初に勤務したのが精神科病棟でした。その後、介護老人保健施設での勤務を経験しましたが、精神科病棟の患者さんも認知症の患者さんも不安が強いところが共通していると感じていました。5病棟では、認知症の患者さんや認知症以外の精神疾患の患者さんが入院されていますが、日常的に不安を感じている患者さんが多いと感じています。微力ながら、その不安が少しでも軽減する様な関わりができればと考えています。また、高齢患者さんが多いので、患者さんの身体面の観察もしっかり行っていきたくと思います。

5病棟 看護師 濱村 みさえ

令和6年6月から、新しく5病棟にて勤務させて頂いてます、濱村と申します。私は、これまで主に内科・外科ミックス病棟で従事してきました。

今回、南国病院を就職先にした理由の1つが、病院の広報でした。職員が楽しく、やりがいを持って仕事されている印象であった事。もう1つは、今までに臨床経験のない環境だとキャリアアップに繋がると思い選ばさせて頂きました。5病棟で勤務させて頂き、約2ヶ月になります。第一印象は、とても働きやすい環境である事。師長・主任・その他病棟スタッフは、皆さん接しやすい方達ばかりなので、分からない事があれば直ぐに聞くことができます。また、CEさんが行なう新人職員向けの研修も大変有意義な時間で、医療機器・医療安全の基礎知識、感染

対策の基礎知識など、当たり前の事であるものの当たり前に出た来ていない事を改めて気付かされた時間でした。

定期で行なわれる患者カンファレンスは、院長先生はじめ、主治医と他職種にて患者様に適した治療とより良い環境で生活を送るために意見交換がなされていました。

このような環境の南国病院に就職させて頂き、とても嬉しく思っています。1日でも早く一人前のスタッフに慣れますよう、ご指導宜しくお祈い致します。

外来 看護師 山岡 莉奈

この6月から外来で働いている看護師の山岡です。外来は初めての経験ですが、病棟とはまた違った、様々な患者さんとの出会いがたくさんあります。日々限られた時間のなかで患者さんと関わり、コミュニケーションを通して診療の支えになれるよう、優しい先輩方のフォローやご指導を受けながら頑張ります。まだ経験も浅く、至らない点も多いと思いますが、これからよろしくお祈いいたします。

【 リハビリテーション課 】

精神科デイケア室 作業療法士 北川 結大

在宅医療支援センター 精神科デイケアに勤務しております。北川と申します。昨年度、高知リハビリテーション専門職大学を卒業し、4月より、作業療法士として勤務しております。社会人1年目であり、慣れない事が多く大変な事もありますが、デイケアのメンバーの方、先輩スタッフに支えられ、日々努力しています。当院の精神科デイケアには作業療法士は自分一人だけですが、その分、他職種の視点や知識を深める事ができています。

これから作業療法士として、よりいっそう自己研磨に努め、利用者の方の生活を豊かに出来るようにと思います。ご指導の程よろしくお祈いいたします。



【 事務部 】

総務課 保清 土居 愛子

私は笑うことが好きなので、忙しくても忙しくなくても明るく元気に、笑顔いっぱい、仕事を頑張りたいと思います。



診療のご案内

ホームページもご覧ください
<http://www.nankoku-hp.or.jp/>

診療科目	◆脳神経内科	◆精神科	休日診療	なし（但し急患は診療いたします）
	リハビリテーション科			予約診療
	◆内科	◆消化器内科	救急指定	なし
	◆放射線科		健康診断	特定健診、胃がん検診(胃内視鏡検査)
診療時間	月～金	午前 8:30 ~ 12:30	面会時間	感染状況により、面会方法が変更になります。 詳細はホームページにてご確認ください。
		午後 1:30 ~ 5:00		
	土	午前 8:30 ~ 12:30		

診療科/曜日	月	火	水	木	金	土	
午前	脳神経内科	山崎	中澤	吉村	中澤	山崎	中澤 ※6
	精神科	藤田	石田	玉元	玉元	上村 ※3 (もの忘れ外来)	中澤 ※7
	消化器内科 内科	速瀬	速瀬	麻植(啓)	速瀬	速瀬 麻植(啓)	速瀬 ※1 麻植(啓) ※2
午後	脳神経内科			吉村 ※4	山崎	古谷 ※6	
	精神科	玉元 赤松	玉元	石田	河合	石田	
	消化器内科 内科	速瀬	麻植(淳)	麻植(啓) 麻植(淳) (禁煙外来あり)	麻植(淳)	速瀬 大西 ※5	

備考

※1 速瀬医師の土曜日の診察は、第1・第3土曜日です。
 ※2 麻植(啓)医師の土曜日の診察は、第2・第4・第5土曜日です。
 ※3 上村医師(もの忘れ外来)の診察は、第2・第4金曜日です。
 ※4 吉村医師の水曜日午後の診察は、第2水曜日です。
 ※5 大西医師の診察は、第1・第3金曜日です。
 ※6 古谷医師の診察は、連続した最終金曜日・土曜日です。
 ※7 中澤医師の土曜日午前の精神科の診察は、再診のみです。

■認定・指定

日本神経学会准教育施設
 日本精神神経学会精神科研修施設
 日本老年精神医学会認定施設
 高知県神経難病医療ネットワーク基幹協力病院
 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設

南国病院 理念

- 安全で質の高い医療によって地域に貢献します。
- 信頼関係に基づき暖かい医療を提供します。
- 専門性を追求し自己研鑽に努めます。

■病床数 162床

46床	2病棟	特殊疾患病棟(I)
56床	3病棟	特殊疾患病棟(I)
60床	5病棟	精神一般病棟(15対1)

基本方針

- 病院が地域の社会資源であるとの認識に立ち、本院の専門性を通して、地域の医療と福祉に貢献します。
- 本院は、脳と神経及び精神の疾病や障害を主な診療対象として、その神経学的、精神医学的診断、治療と臨床的研究に努めます。
- 個々の患者とその家族への十分な説明とそれに基づく納得の上での同意を前提として診療を行います。
- 本院での医療行為は、科学的根拠に基づき、自由で暖かい生命倫理に立って行います。医療環境が常に清潔で、明るく保たれる様努力します。
- 本院の職員は、常に自己の資質と医療技術の向上に努め、病める人たちへの奉仕者としての自覚を持ちます。

■診療実績 2024年4月～2024年6月

外来患者数	6,708名
(内新患者数)	173名
1日平均入院患者数	150.3名
精神科デイケア利用者総数	1,279名
通所リハビリテーション利用総日数	916名
訪問看護ステーションおおそね訪問延人数	1,671名

発行元/医療法人つくし会 南国病院
 発行責任者/中澤 宏之(院長)

〒783-0004
 高知県南国市大桶甲1479番地3

電話 (088) 864 - 3137 (代表)
 F A X (088) 863 - 3070
 (088) 802 - 8618 (地域連携・医療相談室)

